

平成24年度一般会計当初予算説明資料

8款 土木費

3項 河川海岸費

1目 河川総務費

河川課(内線:7386)

(単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考						
				国庫支出金	起債	その他	一般財源							
(新)治水ダムを活用した再生可能エネルギー発電導入推進事業	10,720	0	10,720				10,720							
トータルコスト	11,525千円 (前年度 0千円) [正職員:0,1人]													
主な業務の内容	委託発注、進行管理、監督業務、業者対応、関係機関との検討・調整													
工程表の政策目標(指標)	—													
事業内容の説明														
<p>1 事業の目的・概要</p> <p>本県の目指すエネルギーシフトや再生可能エネルギーの導入拡大を推進するため、既存の治水ダムを活用した小水力発電の事業化調査を行う。</p> <p>(1) 治水ダムの河川維持放流を活用した発電 県管理の治水ダムにおいては、ダム下流の生態系維持や景観、流水の清潔保持等のため、河川維持流量が設定され、常時放流されているが、その落差と水量は未利用のままとなっている。 ダムの包蔵する未利用の水力エネルギーを活用した発電を行い、ダム管理用電力を自給して管理経費の軽減を図るとともに、余剰電力を電力会社へ売電することにより、本県の目指すエネルギーシフトに寄与するものである。</p> <p>(2) 対象ダムの選定 県管理の治水ダム5箇所の内、一般に採算ラインと言われている最大出力が概ね50kw以上が確保できる箇所を選定。</p> <p>(3) 事業化検討調査 事業化検討調査により、発電施設の最適規模の選定、概略の計画策定等、事業化に向けた検討を行う。</p> <p>2 主な事業内容</p> <p>(1) 対象ダム 佐治川ダム、朝鍋ダム</p> <p>(2) ダム管理用発電事業化検討調査 5,360千円/箇所×2箇所=10,720千円</p> <table border="1" data-bbox="223 1451 1380 1787"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①事業化調査</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ダム放流量による発電量の検討 発電の取水位、落差等の検討 </td> </tr> <tr> <td>②発電規模検討</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 最大使用水量の検討 最適規模の選定と電力量の算定 主要構造物の概略検討 概算工事費の算出 電気関係(系統連係等)の検討 最適規模案の概略図面作成 </td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 事業スケジュール(予定)</p> <p>H24 事業化検討調査</p> <p>H25 実施設計、関係機関との調整</p> <p>H26 工事、供用開始</p> <p>3 これまでの取組状況、改善点</p> <p>東日本大震災や原発事故等を受け、再生可能エネルギーの導入拡大が求められている中、率先的な取り組みとして、県管理施設への再生可能エネルギー設備の導入検討を行うものである。</p>									項目	内容	①事業化調査	<ul style="list-style-type: none"> ダム放流量による発電量の検討 発電の取水位、落差等の検討 	②発電規模検討	<ul style="list-style-type: none"> 最大使用水量の検討 最適規模の選定と電力量の算定 主要構造物の概略検討 概算工事費の算出 電気関係(系統連係等)の検討 最適規模案の概略図面作成
項目	内容													
①事業化調査	<ul style="list-style-type: none"> ダム放流量による発電量の検討 発電の取水位、落差等の検討 													
②発電規模検討	<ul style="list-style-type: none"> 最大使用水量の検討 最適規模の選定と電力量の算定 主要構造物の概略検討 概算工事費の算出 電気関係(系統連係等)の検討 最適規模案の概略図面作成 													